

## 関連学協会情報

### 第 134 回塑性加工シンポジウム

#### 「薄板材料の高機能・高付加価値化技術」

- 主 催：日本塑性加工学会関西支部
- 協 賛：日本鉄鋼協会関西支部，他
- 日 時：平成 3 年 2 月 1 日（金）
- 会 場：建設交流館  
〒550 大阪市西区立売堀 2-1-2  
TEL (06) 543-2551
- プログラム：
  - 薄板材料の成形加工技術の動向  
京都工芸大 工芸 山口克彦
  - 薄板材料の高機能・高付加価値化技術の動向  
住金 研開本部 林 豊
  - 高機能薄板材料の自動車車体への適用  
日産自 第 3 技術部 氏原 新
  - 表面処理鋼板の特性と利用  
東洋鋼板 技研 志水慶一
  - 樹脂複合鋼板の特性とその利用  
神鋼 加古川 柚島善之
  - 高鮮映性鋼板の製造技術とその特性  
川鉄 鉄鋼研 今中 誠
  - ステンレス鋼箔の製造技術とその特性  
新日鉄 光技研 住友秀彦
  - アルミニウムの機能性表面処理  
住友軽金 技研 清谷明弘
  - スタンパブルシートの特性と成形技術  
NKK 中央研 北尾幸市
  - 総合討論：(司会) 神鋼 開発実験セ 松下富春
- 定 員：100 名（定員になり次第締切り）
- 参加費：会員 8,000 円，一般 12,000 円  
（学生会員は半額，共催・協賛学協会員は会員扱い，  
テキスト代含む）  
（テキストのみ必要な場合：会員 5,000 円，一般  
8,000 円）
- 申込方法：はがき大の用紙に「第 134 回シンポジウム申込み」と題記し，氏名・連絡先・勤務先（所属  
部課名，電話番号）を明記のうえ，代金を添えて現  
金書留でお申込み下さい。
- 申込先：(社)日本塑性加工学会 関西支部  
〒602 京都市上京区今出川通烏丸東入  
同志社大学工学部機械系学科内  
TEL (075) 251-3823

#### 平成 3 年度（第 22 回）塑性加工春季講演会講演募集

- 共 催：日本機械学会，日本塑性加工学会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 開催日：平成 3 年 5 月 10 日（金）～12 日（日）
- 会 場：日本工業大学  
（東武伊勢崎線，東武動物公園駅下車）

- 講演申込締切日：平成 3 年 2 月 19 日（火）（必着）
- 講演論文集原稿提出期限：平成 3 年 3 月 20 日（水）  
（厳守）
- 講演申込方法：所定の申込書に必要事項を記入の上  
申込整理費を添えて下記申込先へお送りください。
- 申込先・問合せ：日本塑性加工学会  
〒106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル 3 F  
TEL 03-3402-0849
- 講演申込整理費：1 講演につき 3,000 円
- 講演者は共催学協会会員に限ります（なお，連名者  
はその限りではない）
- 講演論文集原稿枚数は所定用紙（2350 字詰）2 ま  
たは 4 枚とする。（講演時間は 15 分以内）

### システム制御情報チュートリアル講座

#### イーブニングスクール（H）コース

#### 「ロボットの適応制御と学習制御」開講のお知らせ

- 主 催：システム制御情報学会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 日 時：1991 年 2 月 4 日（月）・7 日（木）・12 日  
（火）・14 日（木）・18 日（月）各日 18:00～  
20:30
- 会 場：蔵前工業会館（東京都港区新橋 2-19-10）
- 講義概要：ロボット工学の基礎的事項を体系的にわ  
かりやすく解説する。
- テキスト：朝倉書店刊「ロボットの力学と制御」  
聴講料には含まれません。お持ちでない受講者には，  
特別価格 3,000 円（定価 3,399 円）にて斡旋致しま  
す。
- 定 員：40 名
- 聴講料（全日のみ/消費税込）：  
会員（協賛学協会員含む）25,000 円  
学生 20,000 円
- 申込先：〒606 京都市左京区吉田河原町 14 番地  
近畿地方発明センタービル内  
システム制御情報学会 チュートリアル講座係  
TEL (075)751-6413 FAX(075)751-6037

### 第 40 回システム制御情報講習会

#### 「ここまできた高度情報化技術」

#### 開催のお知らせ

- 主 催：システム制御情報学会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 期 日：＜大阪＞1991 年 2 月 14 日（木）・15 日（金）  
＜東京＞1991 年 2 月 20 日（水）・21 日（木）
- 会 場：＜大阪＞なにわ会館（大阪市天王寺区石ヶ  
辻町 19-12）  
＜東京＞ダイヤモンドホール（東京都千代  
田区霞ヶ関 1-4-2）

5. プログラム (東京会場では、1 と 5 が入替え)

TEL (03) 3946-9684

◀第 1 日目▶

1. マルチメディアと情報処理ネットワーク
2. ISDN の現状と将来展望
3. 指紋による個人識別システムとその応用
4. 車のナビゲーションと交通管制

◀第 2 日目▶

5. 音声認識 (仮題)
  6. 自然言語および AI 技術を利用した新しい情報検索システム
  7. パーソナルコンピュータでの機械翻訳 (仮題)
  8. 新聞作成の情報処理 (仮題)
6. 聴講料: (テキスト 1 冊/1 人含む)  
 会員 (協賛学協会員含む) 30,000 円  
 学生 15,000 円

7. 問合せ先: 〒606 京都市左京区吉田河原町 14 番地  
 近畿地方発明センタービル  
 システム制御情報学会 第 40 回講習会係  
 TEL (075)751-6413 FAX (075)751-6037

金属学会シンポジウム

「c-BN 気相合成」

1. 主 催: 日本金属学会
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時: 平成 3 年 2 月 15 日 (水) 9:50~16:40
4. 場 所: 東京大学山上会館
5. 内 容: スパッタ法から見た c-BN 気相合成の現状と将来展望; イオンプレーティング法による c-BN 膜の形成とその特性; 活性化ノズルを用いた活性化反応性蒸着法による c-BN 膜の生成とその特性; レーザ PVD 法による c-BN 膜の作成とその機械的特性; CVD 法による c-BN 膜の生成機構。

金属学会シンポジウム

諸材料中の酸素、水素定量の最近の発展と諸問題

1. 主 催: 日本金属学会
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時: 1991 年 2 月 22 日 (金) 9:25~17:30
4. 場 所: 科学技術庁金属材料技術研究所 (東京都目黒区中目黒 2-3-12)
5. 内 容: ①総論 (解説), ②表面解析, ③真空融解法, ④不活性ガス融解法, ⑤加速器利用分析, ⑥金属中析出相, ⑦鉄鋼, ⑧非鉄金属, ⑨軽金属, ⑩セラミックス, ⑪中性子回折 (超伝導物質の酸素の構造解析) ⑫総合討論

第 28 回理工学における同位元素研究発表会論文募集

1. 共 催: 第 28 回理工学における同位元素研究発表会運営委員会, 日本鉄鋼協会, 他
2. 会 期: 平成 3 年 7 月 1 日 (月)~3 日 (水)
3. 会 場: 国立教育会館 (東京都千代田区霞が関 3-2-3)

4. 発表論文

(1)内容: それぞれの研究分野において, その専門的成果を得るにいたった放射性および安定の同位元素ならびに放射線の利用の技術に重点を置いた論文と, これら同位元素, 放射線の利用の基礎となる研究論文とします。研究の内容には, 少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。なお, 発表は口頭発表とポスター発表とします。

(2)発表申込区分

- ①基礎的データ ②放射線測定器・測定法 ③分析 (放射化分析, 放射化学分析等) ④トレーサ利用 ⑤照射効果 ⑥製造・分離・標識化 ⑦線源・加速器 ⑧放射線利用機器 (ラジオグラフィ, エネルギーの利用, 発光塗料等も含む) ⑨陽電子消滅, メスバウア効果 ⑩放射線管理 (汚染除去, 健康管理, 安全取扱, 廃棄物処理, 運搬等) ⑪地球科学・宇宙科学・環境科学 ⑫安定同位体関係 ⑬測定器, 応用計測機の新製品紹介 [コマーシャル・セッション] (発表は口頭発表のみ)

5. 発表申込締切: 1991 年 2 月 28 日 (木) 必着
6. 発表申込み・問合せ:

〒113 東京都文京区本駒込 2-28-45  
 日本アイソトープ協会内  
 理工学における同位元素研究発表会運営委員会

超高温材料国際シンポジウム

—材料設計から評価まで—

1. 主 催: 超高温材料研究センター
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時: 平成 3 年 3 月 15 日 (金) 9:30~19:30  
 3 月 16 日 (土) 9:00~16:30
4. 場 所: 宇部全日空ホテル (山口県宇部市)
5. 内 容:
  - 第 1 日 「超高温材料の現状と今後の方向」
  - 「超高温材料分野における開発戦略および(株)超高温材料研究センターの紹介と今後の展望」
  - 「耐熱金属材料—タービン材料の進展」
  - 「THE MATERIALS REVOLUTION: Is the High-Temperature Campaign Real?」
  - 「C/C コンポジットの研究開発動向」
  - 「C/C 複合材料 (仮題)」
  - <ポスターセッション>
  - <交流会—立食パーティ>
  - 第 2 日
  - 「熱プラズマプロセッシングの新展開」
  - 「セラミック構造材のナノ複合化」

「Microstructural design of Si<sub>3</sub>N<sub>4</sub> based ceramic  
Max-Planck-Institut」

「ナノコンポジットとしての傾斜機能材料」

「耐熱金属材料, セラミックスの高温強度評価方法」

「セラミックスの高温変形・強度解析とその超高温材  
料研究への展開」

＜本シンポジウムの総括＞

6. 参加費：20,000 円（交流会費等を含む）
7. 問合せ先：〒754 山口県吉敷郡小郡町昭和通り中村ビル（株）超高温材料研究センター 山口センター技術部（TEL 08397-3-5059, FAX 08397-3-5029）

**名古屋大学工学部材料プロセス工学科教官公募**

平成 3 年度に新設される下記講座の担当教官を公募致します。

1. 講座名：材料計測解析工学
2. 職種：教授または助教授 1 名
3. 専門分野：プロセス制御計測システム工学, 各種センサー材料開発, 材料特性評価法
4. 提出書類：履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷（10 篇以内）, これまでの研究経過および, 今後の研究計画と抱負（2000 字程度）, 健康診断書, 推薦書
5. 着任時期：決定後, なるべく早い時期
6. 応募締切：1991 年 2 月 28 日
7. 書類提出・問合せ先：  
〒464-01 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学工学部材料プロセス工学科主任  
長 隆郎 TEL 052-781-5111（内）3356

**受賞報告**

本会では関連学協会からの依頼による各賞の候補者推薦の業務を行っております。

本会の理事等関係者に候補者推せんを依頼し, 表彰奨励推薦分科会にて選考し, 理事会の承認を得て, 各学協会へ推薦いたしております。

本年度これまでに受賞したものは, 下記のとおりであります。

- (1) 機械振興協会賞  
「高能率スラブ連続機の開発」  
株式会社神戸製鋼所
- (2) 石川賞  
「コークス工場の一貫操業管理システム」  
川崎製鉄株式会社
- (3) 岩谷直治記念賞  
「薄鋼板連続焼鈍プロセスにおける直火還元加熱技術の開発」  
日本鋼管株式会社

**● 製造事業所の皆さんへ ●**

— 統計調査にご協力ください —

通商産業省では, 工業統計調査及び石油等消費構造統計調査を平成 2 年 12 月 31 日現在で実施いたします。

工業統計調査は, 製造業を営む事業所を対象として, その活動実態を調査します。

また, 石油等消費構造統計調査は, 産業別, 規模別, 地域別に我が国産業のエネルギー消費の実態を明らかにすることを目的としています。

これらの調査結果は, 国や地方公共団体の行政の重要な基礎資料として利用されるとともに, 大学や民間の研究機関等においても産業, 経済のデータとして広く利用されているところです。皆様から提出された調査票につきましては, 統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので, 正確な御記入をお願い申し上げます。